



SANWA SUPPLY

マルチメディアキーボード取扱説明書

SKB-MMW
SKB-MMSV

対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
(ただし、PS/2キーボードポートを持つ機種)

DIN5pinキーボードポートの機種に接続する場合には、別途変換アダプタが必要です。

対応OS

Windows Me・2000・98SE・98・95・NT4.0

最初に
ご確認ください。

セッ
ト内
容

マルチメディアキーボード	1台
専用アプリケーションソフト(3.5 フロッピーディスク)...	1枚
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2001.4

はじめに

このたびは、マルチメディアキーボードをお買いあげいただき誠にありがとうございます。本製品は、付属のソフトウェアにより、CD-ROMドライブのコントロールやインターネットへのワンタッチアクセスなどが行えるマルチメディアキーを装備したキーボードです。(標準キーの配列は、106日本語キーボードに準拠しています。)

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものとは異なることがあります。

必要なシステム

Windows Me・2000・98SE・98・95・NT4.0

3.5 フロッピーディスクドライブ(専用ソフトのインストールのために必要)

CD-ROMドライブ(CDコントロール機能)

サウンドカード(CDやAVIファイルの再生に)

ACPIもしくはAPM に準拠した電源管理システム(スリープキー)

ATXマザーボードとATX電源(スリープキー)

⚠ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。

雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

快適な使用方法

- 手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。
- 手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
- 肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。
- 15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
- 腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
- 画面を見るときは、心持ち視線が下がるように椅子の高さを調節してください。
- 窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。
- 画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。
- キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンドがついています。
- お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

注意 スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

特長

PS/2スタンダードキーボードポートに準拠した日本語キーボード(「106日本語キーボード」に準拠したキーボードです。)

キー数は全部で113。(106キー+左右Windowsキー+アプリケーションキー+スリープキー+2つのショートカットキー+マルチメディアファンクションキー)

マルチメディアキー(ファンクション機能)

CDのコントロールやインターネット、eメールに簡単アクセス。

マルチメディアファンクションキーのON/OFFでファンクションキーとマルチメディアキーをワンタッチで切り換え。

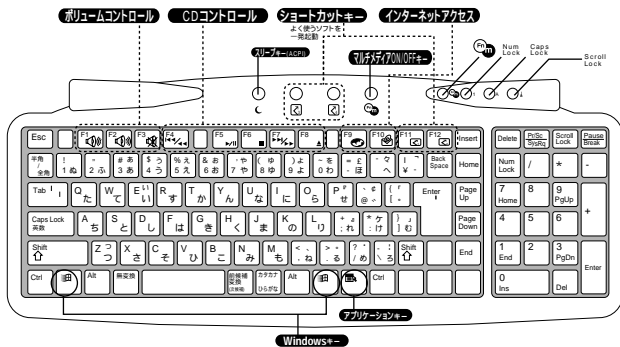
幅40cmの小型フルキーボード

フルキーボードでありながら幅408mmと小型化(15%・当社比)しており、デスクトップを省スペースに使用可能。

WindowsのACPI対応の「スリープ」キー装備。

キーボードの角度調節(2段階)用スタンド付。

キーボードの底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンドがついています。お好みによって入力しやすいように、どちらかのポジションを選んでください。



注意 パソコンの機種・BIOSによっては、ACPIキー(スリープ)が機能しない場合があります。ACPIスリープキーはWindows98・95・NT4.0には対応していません。ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

キーボードのセットアップ

キーボードの接続

- パソコンの電源を切ってください。
- パソコンのキーボードポート(ミニDin6pinメス)[別称:PS/2キーボードポート]を、確認してください。(多くのパソコンではキーボードのアイコンがついています。)
注意 マウス用のポートと同じ形をしていますので間違えないようにしてください。ノートパソコンに接続する場合は、ノートパソコンのポートが外付けキーボードに対応しているかどうかをパソコンの取り扱い説明書などで確認してください。(パソコンによってはマウスのみ、テンキーボードのみに対応している機種があります。)
- 本製品のコネクタ(ミニDin6pinオス)をパソコンのキーボードポートに接続してください。
- コンピュータの電源を入れてください。
- この後、本商品付属の3.5 フロッピーディスクから、マルチメディアファンクション用ソフトウェア(Key Maestro)をインストールしてください。
マルチメディアファンクションキーについては次章を参照してください。

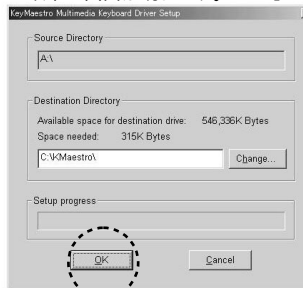


ミニDin6pinメス アイコン

ソフトウェアのインストール/アンインストール

ソフトウェア(「Key Maestro Multimedia Keyboard Driver」)のインストール

- 付属のフロッピーディスクをパソコンのフロッピードライブにセットしてください。
- スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選んでください。
- 名前の欄に「A:\\$setup.exe(フロッピードライブが「A」ドライブの場合)」と入力し、「OK」をクリックしてください。
- 以下の画面が現れます。「OK」をクリックしてインストールを開始してください。
(インストールする先を変更する場合「change」ボタンをクリックして変更を行ってください。)



- インストール途中で以下の画面が表示されます。「Key Maestro CD player」をCDプレーヤーとして使用する場合は「はい」をクリックしてください。

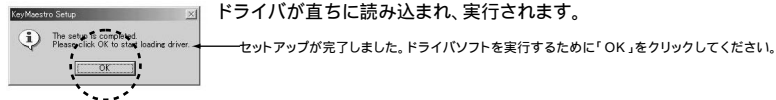
重要

通常のWindowsではオーディオCDやオーディオファイルを再生するソフトとして「Windows Media Player」や「Windows CDプレーヤー」がデフォルト(初期)設定されています。このデフォルトのまま使う場合は「いいえ」をクリックしてください。ただし「いいえ」をクリックした場合、本キーボードの「CDコントロールキー」(F6)～「F8」は使えません。「CDコントロールキー」が使用できるプレーヤー(オーディオ再生ソフト)は「Key Maestro CD player」と「Win DVD 2000」(バージョン2.1以降)です。

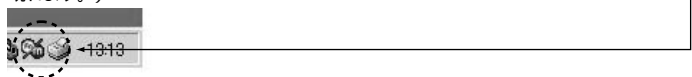


「Key Maestro CD player」をデフォルトのプレーヤーにしますか。(「いいえ」を選ぶとすでにインストールされているプレーヤーがそのままデフォルトのプレーヤーとなります。)

6. インストールが終了すると以下の画面が現れますので、「OK」をクリックしてください。
ドライバが直ちに読み込まれ、実行されます。



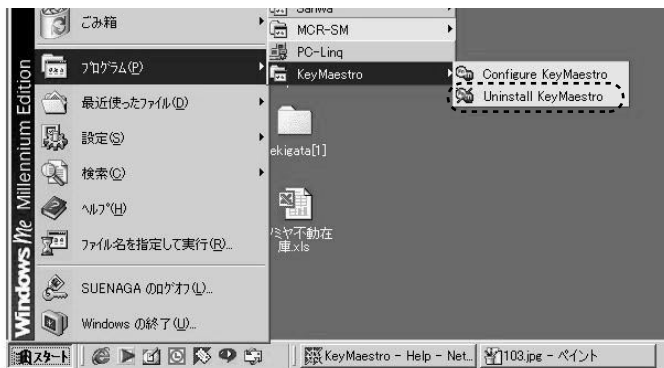
ソフトウェアが実行されると画面右下のWindowsのタスクバーに「Key Maestro」のアイコンが現れます。)



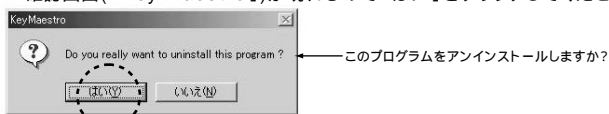
ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアのドライバソフトをアンインストール(削除)する場合、以下の手順で行ってください。

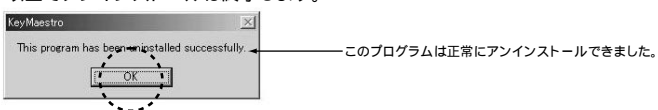
1. スタートメニューの「プログラム」の「Key Maestro」の「Uninstall Key Maestro」を実行してください。



2. 確認画面(「Key Maestro」)が現れるので「はい」をクリックしてください。

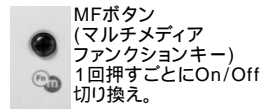


3. アンインストールが終了するともう一度確認画面が現れますので「OK」をクリックしてください。
以上でアンインストールは終了します。





使い方と機能について マルチメディアファンクションキー

Fn MF ボタンを通してファンクション・キー(F1-F12)をマルチメディア機能に切り替えられます。
MFボタンの横にあるLED、またKey MaestroアイコンはMF機能の状態を示します。






F1		ボリューム ダウン	スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを下げます。
F2		ボリューム アップ	スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを上げます。
F3		ミュート	サウンド出力をミュート(消音)します。元に戻すためにはもう一度ボタンを押します。
F4		前/巻き戻し	一度押すと前のファイル/曲に戻します。押し続けければ、再生しながら早く巻き戻します。ボタンを放すと普通に再生します。
F5		再生/一時停止	現在のオーディオ/ビデオファイルを再生/一時停止します。再生中にボタンを押すと一時停止します。再生に戻るためにはもう一度押します。 本ドライバーはオーディオCDやビデオCDを再生するだけでなく、DAT、MPG、AVI、WAV、MIDとMP3形式のファイルも再生できます。CD-ROMドライブにオーディオ、及びビデオファイルが入っていないければ、このボタンを押すとメディアファイルを選択するためのダイアログボックスが表示されます。(右図参照)ダイアログボックスで再生順を設定できます。 このボタンは「WinDVD 2000」(バージョン2.1以降)にも対応しています。WinDVDがインストールされているならDVD映像を楽しめます。WinDVDについての詳しい情報は： www.intervideo.com を参照してください。
F6		停止	再生を停止します。
F7		次/早送り	一度押すと次のファイル/曲に飛ばします。押し続けければ、再生しながら早送りできます。ボタンを放すと普通に再生します。
F8		取り出し	CDトレイを取り出します。
F9		WWW	インストールされているインターネットブラウザを起動させます。2つのブラウザがインストールされている場合、デフォルトのブラウザを起動させます。 また、このキーはショートカットキーとして再設定できます。設定を変えるにはタスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックし、設定を選択します。 詳しくは「設定」をお読みください。
F10		eメール	eメールソフトを起動させます。WWWと同じように、このキーを再設定し、ショートカットキーとして使用することもできます。設定を変えるにはタスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックし、設定を選択します。詳しくは「設定」をお読みください。

F11		ショートカット1	よく使うドキュメントやプログラムを簡単にアクセスできます。デフォルトの設定(初期設定)はWindowsの「メモ帳」となっています。設定を変えるにはタスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックし、設定を選択します。詳しくは「設定」をお読みください。
F12		ショートカット2	ショートカット1と同様。デフォルトの設定(初期設定)はWindowsの「電卓」となっています。

ショートカットとスリープボタン

マルチメディアファンクション機能がOFFの時でも、ショートカット3、ショートカット4、またはスリープボタンを使用できます。



	ショートカット3	ショートカット1と同様。
	ショートカット4	ショートカット1と同様。
	スリープ	システムをスリープ(消費電力を低減する)モードにします。スリープ機能はWindowsにより実行される機能です。Windows 98・95及びWindows NTでKeyMaestroドライバーのスリープモードは使用できません。

メディアファイル選択のダイアログボックス(▶/|| [F5]キー)

CD-ROMドライブにオーディオCDが入っていない時に[F5▶/||]キーを押すと、このダイアログボックスが開きます。

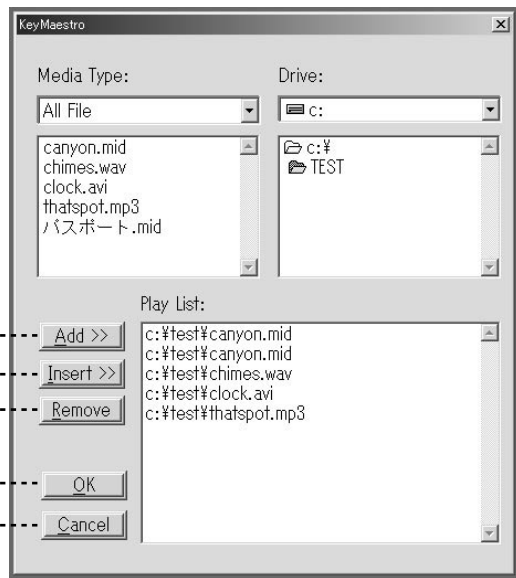
プレイリストに選択したファイルを追加

プレイリストに選択したファイルを挿入

プレイリストから選択したファイルを削除

ダイアログボックスを閉じて、プレイリストのファイルを順番に再生します。

ダイアログボックスを閉じます

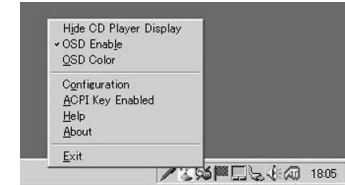


ソフトウェア(Key Maestro)の設定メニューコマンド

タスクバーにあるKeyMaestroアイコンをクリックすると、右記のコマンドメニューが表示されます。



CD Player演奏中には右記のコマンドメニューが表示されます。



Hide (show)CD Player Display (CDプレーヤを表示する/隠す)

CDプレーヤのディスプレイを示す/隠すためのコマンドです。KeyMaestroがメディアファイルを再生する時しか表示されません。マウスでディスプレイを動かすこともできます。ディスプレイを閉じるには右上にある「X」をクリックする方法もあります。



Continuous Play(連続再生)

このコマンドは再生されているファイルを連続的に再生します。この機能を使用する場合、CDプレーヤディスプレイに「REPEAT」の文字が表示されます。

OSD Enable(OSD使用可能)

OSD(オンスクリーンディスプレイ)を隠すためのコマンドです。OSDが使用可能である場合は、マルチメディアボタンを押す際に、機能名が画面の左下に表示されます。

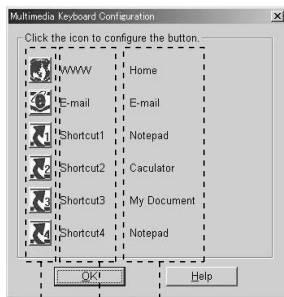
OSD Color(OSDカラーディスプレイ)

OSDカラーを設定するためのコマンドです。好みに合わせたカラーを選択できます。

Configuration (設定)

WWW、電子メール及びショートカットの再設定可能なキーを変更するためのコマンドです。再設定できるボタンは設定ウィンドウで表示されます。

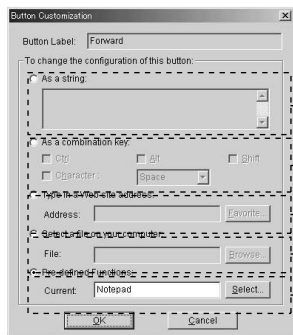
1行目には定義されたボタン名が表示されます。2行目には現在の設定されているラベル名が表示されます。再設定するためにボタンをクリックすると、ボタン設定ボックスが表示されます。



ボタン 1行目 2行目

① ボタンの機能を設定する。

A～Eの中からどれか一つだけ設定することができます。



注意:
各入力ボックスで日本語を入力・確認すると設定画面では文字化けしてしまいますが、実行するときには正常に表示あるいは入力されます。

A スtringとして

よく使われるテキストString(文字列)をボタンに設定できます。最大文字数は3000字(半角)です。住所や定型文章を入力し、登録しておく、ワンタッチで入力することができます。

As a string をマウスでクリックし、チェックを付けてから入力ボックスにキーボードで入力してください。

B コンビネーションキーとして

よく使うコマンドを実行するために、Windowsのソフトにはたくさんのホットキーが含まれています。ホットキーを実行させるには2つ、または3つのキーを同時に押す必要があります。それらのホットキーを覚えて、押すのは難しいことでしょう。どうしても覚えられない、難しいホットキーを設定できるようにしています。

例えば:

[Alt] + [F4] = ウィンドウを閉じる

[Ctrl] + [A] = すべてを選択 (注意:[Ctrl] + [Alt] + [Delete] のコンビネーションは設定できません。)

As a combination Keyをマウスでクリックし、チェックを付けてから、使用するキーをマウスで選択してください。

[Ctrl]・[Alt]・[Shift]キー以外のキーは Characterをマウスでクリックし、チェックを付けてから右にある [] の ▼ マークをクリックしてこのプルダウンメニューの中から選択してください。

C ウェブサイトアドレスを記入する

ウェブページをボタンに設定するために、「Type in Web site address」をマウスでクリックし、チェックを付けてからAddressフィールドにアドレスを入力するか、「Favorite」ボタンをクリックして、「お気に入り」のアドレスから選択してください。

D コンピュータのファイルを選択する

「Select a file on your Computer」をマウスでクリックし、チェックを付けてからファイル名を入力するか、「Browse」ボタンをクリックし、ファイルを選択してください。

E デフォルト機能

「Pre-defined Functions」をマウスでクリックし、チェックを付けてから、「Select」ボタンをクリックしてリストの中から選んでください。

② ボタンのラベルを入力する

「Button Label」ボックスに、ボタンが起動させるアプリケーション名、もしくはボタンの機能の説明を入力します。

各入力ボックスで日本語を入力・確認すると設定画面では、文字化けしていますが、実行するときは正常に表示されます。

このラベル名はボタンを押す際にOSD(オンスクリーンディスプレイ)として表示されます。

③ 「OK」をクリックします。

ボタン設定ボックスが閉じて、Configuration(設定)画面に戻ります。

必要に応じて各ボタンの設定を同様に行ってください。

各設定が終わりましたらConfiguration(設定)画面の「OK」をクリックしてください。

ACPI Key Enabled(ACPIキー使用可能)

ACPI (Advanced Configuration and Power Interface)キーはキーボードの電源管理を行い、スリープキーとなっています。ACPIキーとシステムの互換性によって、スリープキーを使用可能にするか、しないかを決められます。

エラーが発生したり、システムがフリーズした場合、ACPIキーを使用不可能にし、Motherboardの設定を確認してください。

Help(ヘルプ)

このコマンドを選択するとヘルプファイルが表示されます。

About アバウト(バージョン情報)

このコマンドを選択するとKeyMaestroソフトウェアのバージョン情報、ドライバーの更新ダウンロードについてなどの情報が表示されます。

Exit(終了)

ソフトウェア(Key Maestro)を終了させるためのコマンドです。コンピュータを再起動する際、ドライバーは自動的に起動されます。

ドライバーをアンインストールするためには、P.4の「アンインストール」を参照してください。

他のプログラムのインストールの際に問題が発生する場合は、本ドライバーを終了させてからインストールを行ってください。